資 料 4

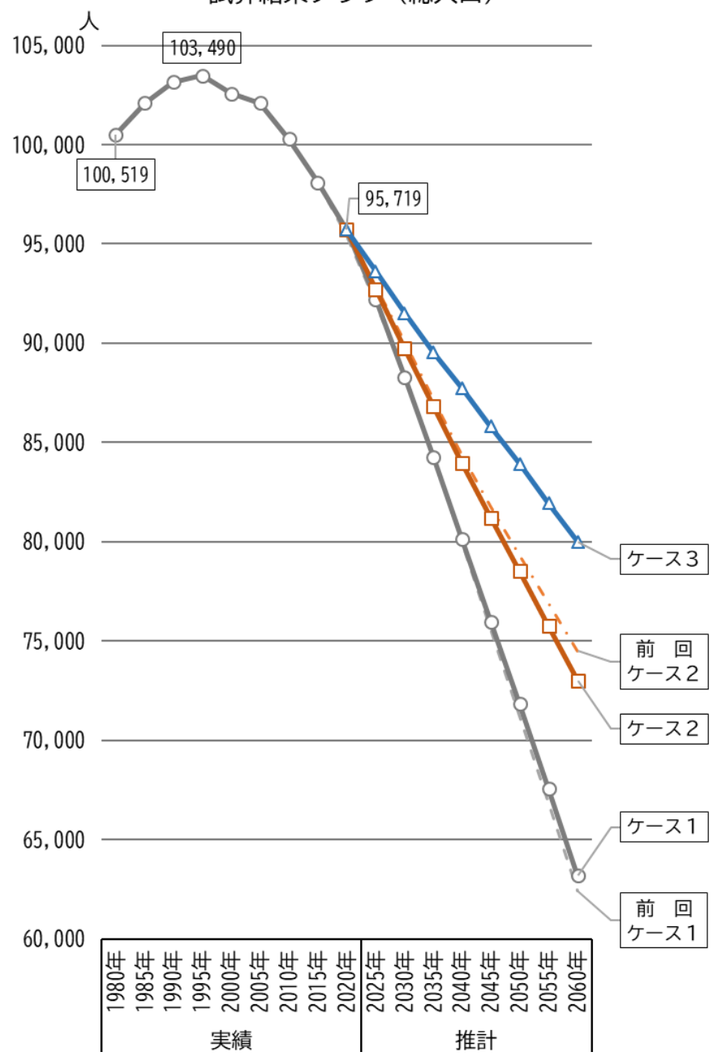
将来人口推計

＊「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（令和元年度改訂版）」では、平成27（2015）年の国勢調査人口を基準として、令和42（2060）年までを対象期間として推計（前回推計）。
＊令和２（2020）年の国勢調査人口を基準として同期間を推計（今回推計）し、令和７年度に人口ビジョンを改訂する予定。

１　試算ケース

ケース名	前回推計		今回推計		説　　明
	条　件※1 （1）合計特殊出生率 （2）純移動率※2	結　果 2060年 総人口	条　件※1 （1）合計特殊出生率 （2）純移動率※2	結　果 2060年 総人口	
【基準推計】 ケース１	社人研仮定値 （平成30年推計）	62,392人	社人研仮定値 （令和５年推計）	**63,174人** （+782人）	地方創生の施策を講じない場合の将来人口推計
【独自推計①】 ケース２	（1）2040年 2.07 （2）均衡	74,484人	（1）2040年 2.07 （2）均衡	**73,010人** （-1,474人）	合計特殊出生率は国の目標※3、純移動率は均衡として試算
【独自推計②】 ケース３	（1）2040年 2.07 （2）転入超過	80,039人	（1）2040年 2.07 （2）転入超過	**80,000人** （-39人）	合計特殊出生率は国の目標として、目標人口８万人を達成するための純社会移動率を探る試算
【独自推計③】 ケース４	（1）2040年 2.31 （2）均衡	80,056人	（1）2060年 3.30 （2）均衡	**80,560人** （+504人）	移動率は均衡として、目標人口８万人を達成するための合計特殊出生率を探る試算
【参考推計①】 ケース５	（1）2045年 2.07 （2）均衡	74,186人	（1）2045年 2.07 （2）均衡	**71,722人** （-2,464人）	合計特殊出生率は国の目標の５年遅れ、純移動率は均衡として試算
【参考推計②】 ケース６	（1）2050年 2.07 （2）均衡	72,211人	（1）2050年 2.07 （2）均衡	**70,608人** （-1,603人）	合計特殊出生率は国の目標の10年遅れ、純移動率は均衡として試算
【参考推計③】 ケース７			（1）2055年 2.07 （2）均衡	**69,623人**	今回追加 合計特殊出生率は国の目標の15年遅れ、純移動率は均衡として試算
【参考推計④】 ケース８			（1）2060年 2.07 （2）均衡	**68,736人**	今回追加 合計特殊出生率は国の目標の20年遅れ、純移動率は均衡として試算

試算結果グラフ（総人口）



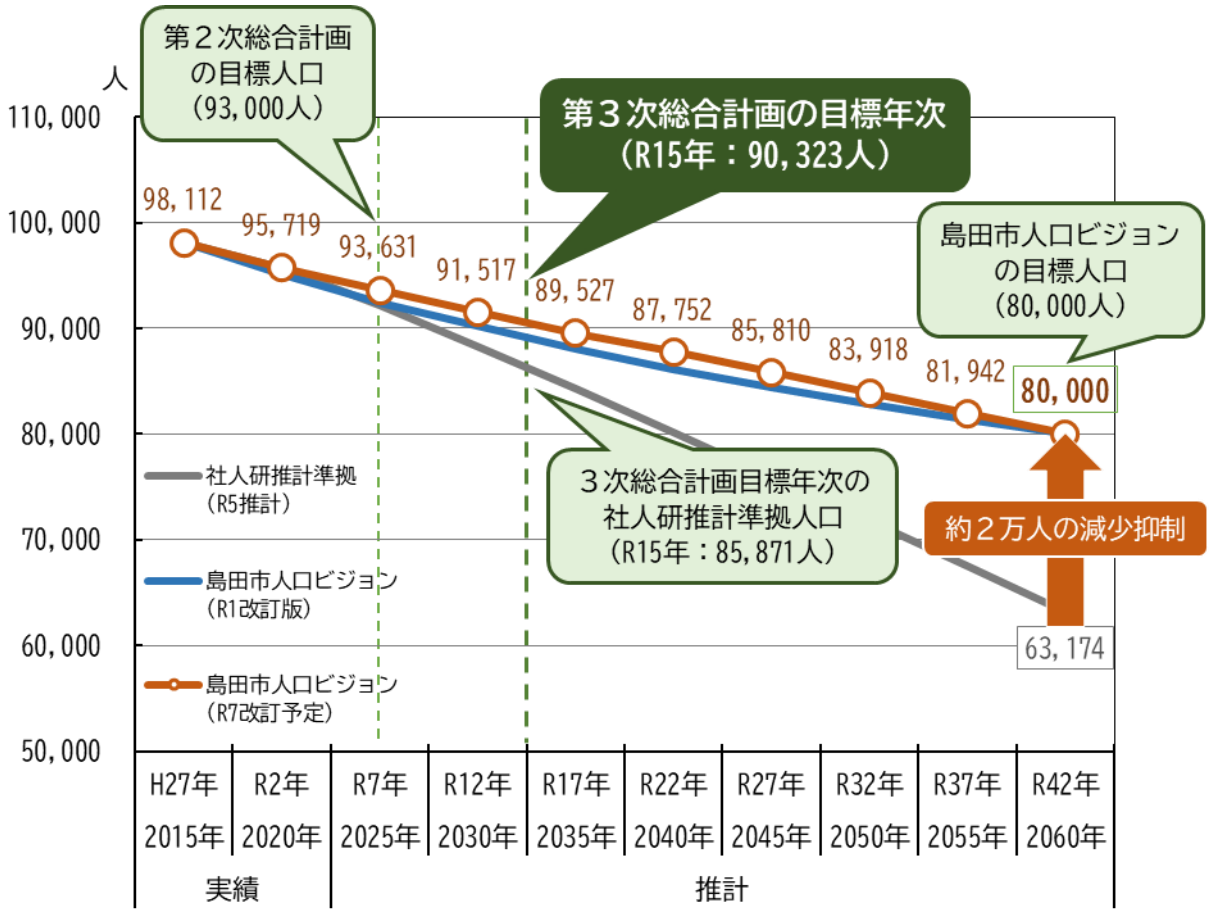
※１　全ての試算ケースにおいて、生残率（人口が一定期間後に生き残っている率）及び０～４歳性比（０～４歳女性人口100人あたりの０～４歳男性人口）は、社人研仮定値（前回推計：平成30年推計、今回推計：令和５年推計）として試算している。
※２　一定期間における純移動数（転入超過数）を期首の人口で割った値。
※３　「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」において、国民希望出生率（若い世代の結婚・出産・子育ての希望が実現した場合に想定される出生率）1.80を2030年に、人口置換水準（人口が長期的に増加も減少もせず一定となる出生の水準）2.07を2040年に設定している。

転入超過、長寿による人口増加を目指して、**2060年の目標人口「８万人」を継続**

2　第３次総合計画の目標人口

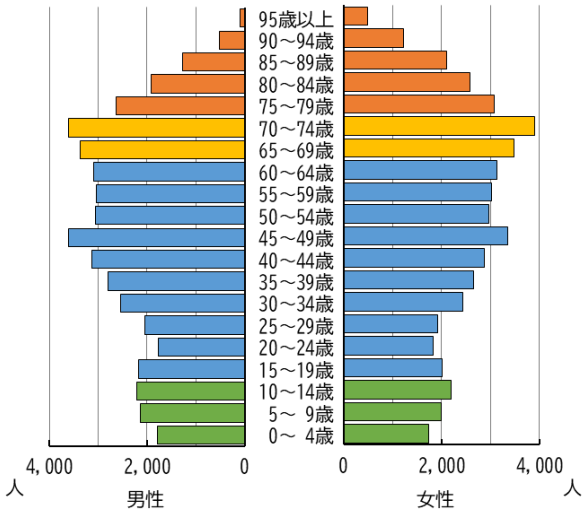
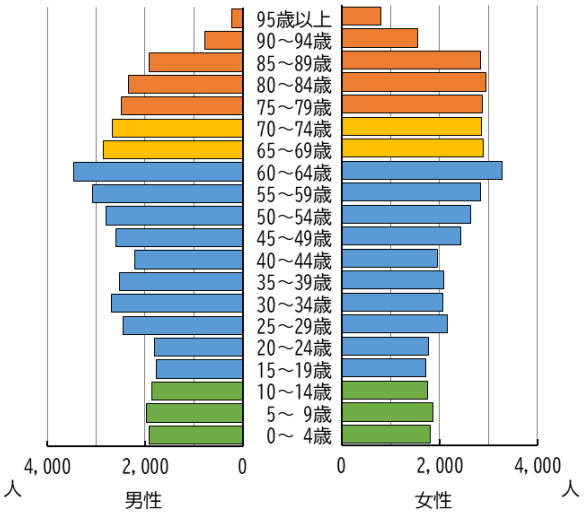
＊第３次総合計画の目標年次における目標人口は、令和７年度改訂の人口ビジョンにおける目標人口（2060年：８万人）を前提とする。

目標年次　令和15（2033）年における目標人口　**91，000人**



【男女、年齢５歳階級別　人口ピラミッド】

令和２年（実績）



令和17年（推計）